

【受賞対象名】

リノベーション施設の地域コミュニティ創り

“食”や“本”を通じたコミュニティ拠点の運営



●概要

昭和40・50年代に建設された郊外型の大規模団地に立地する遊休施設をリノベーションし、地域コミュニティ形成の場としてコミュニティ拠点を計画・整備・運営。各拠点では、暮らしに根ざし、幅広い世代・属性が関わりやすい「食」や「本」をテーマとした活動の展開により団地及びその周辺地域を知り、愛着を育み、新たな魅力の創造を目指す。

●デザインのポイント

- 1 地域を知り、愛着を育み、新たな魅力を創造する活動拠点
- 2 「食」や「本」をテーマに交流が育まれる仕掛けづくり
- 3 団地暮らしを身近に感じるお気に入りの居場所づくり

●審査員の評価

「長年URの団地の管理・修繕を担ってきた企業が、物的環境のメンテナンスだけでなく、コミュニティのメンテナンスに取り組む事業と言える。団地ごとの特性と空間資源の組み合わせに若手コミュニティ・マネージャーのアイデアを加え、その場所場所の新たなコミュニティの場が創出されている。団地をよく理解した上での多様な場づくりの大らかなトライアルが、これからのモデルを生んでいく土壌としても機能していると高く評価した」